

このスポット・おすすめ!

自家製ぜんざい・ドリンク・軽食
運天港を望む静かなカフェ
Cafe & Gallery **ほるとの丘**

体に優しい素材・味付け
やちむんギャラリーを併設
全10席の小さな何もないカフェ
だけ、眺めだけは最高だからと
もなしてくれたのは、店主の玉城
光子さん。こんなときに使われる
何もなしのご言葉は、驚き極ま
らないこと。私たちは経験上よく
知っています。メニューを開けば、
ぜんざい・タピオカドリンク・ワ
ッフル等々、自家製ドリンク&軽食
が豊富にラインアップ。ドライブの
疲れを癒やし、のんびり涼を取るに
はぴです。

おオープンは2013年。もとも
と玉城さんは本島中部在住でし
たが、子育てが一段落したのを機
に、「作陶家」である主人の玉城
正明さんの意向を受け屋我地島
へ移住。「訪ねて来てくれた人た
ちが、コーヒーなどを飲んで少し
でもくつろぎたい」と自宅内
にカフェスペースを設け、体に優
しい素材と味付けにこだわった
手作りメニューの提供を始めま
した。

住所 / 名護市連天原728-1
電話 / 0980-52-8022
営業 / 11:00~17:30 (L.O.)
休み / 月・火曜日
駐車 / あり
http://www.horutonooka.com/
【おもなメニュー】
・黒糖ぜんざい.....500円
・黒蜜きな粉ぜんざい.....600円
・抹茶ミルクぜんざい.....600円
・ワッフル.....800円
・タピオカドリンク.....各500円
・コーヒー.....400円
・アイスコーヒー.....450円



Fresh Winds

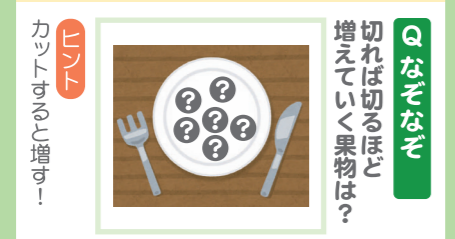
人と人のつながりを大切に...池原建設が大切なお客様にお送りする手作り広報誌



読者プレゼント

このスポット・おすすめコーナーで紹介の『ほるとの丘』で使える

2,000円分 お食事券 3名様



8月号当選者 前号の答え(まぶた)
★室田 麻美さん(読谷村在住)
★島尻 久美子さん(沖縄市在住)
★新城 辰也さん(読谷村在住)

ワイワイ広場

読者プレゼント応募方法

宛先 読谷村字伊良智237-1 ウィンズ『広報誌係』

①住所 ②氏名 ③年齢 ④職業 ⑤電話番号

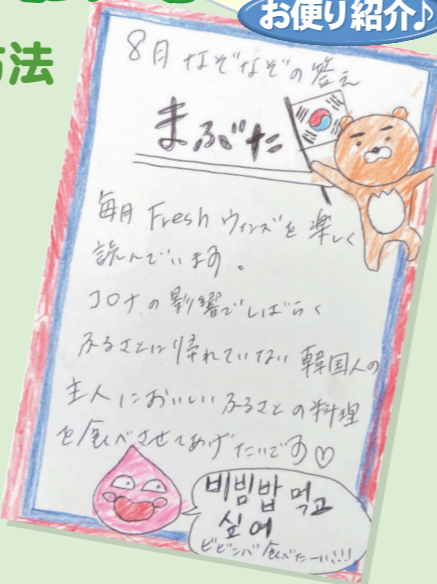
⑥なぞなぞの答え

⑦ご意見 ⑧ご感想

応募者の中から抽選で、読者プレゼントを進呈致します。どしどしご応募下さい!

締め切り 2020年9月20日消印有効
「当選者は次号(Vol.193)にて発表致します」

『Freshウィンズ』は、建築でお手伝いをさせて頂いた施主様をはじめ、地域にお住まいの方など、ご縁をいただいた皆様に配布致しております。諸事情により配布不要となった際は大変お手数ですが、その旨ご連絡下さい。(ウィンズ広報誌係)



住宅のメンテナンスや補修等のご相談は、お気軽にスタッフへお声掛け下さい!

0120-229-512 ウィンズ 池原建設 検索

読谷村思い合ち手作りマスク1000人プロジェクト

読谷村在住の中村喜美枝さんから、300枚の手作りマスクの寄贈を受けたことを機にスタートしたプロジェクト。有志の皆さんから届いた手作り・市販マスクを、読谷村内で必要とする方や施設へ提供します。

受付先: 読谷村役場 1階 福祉課 tel. 098-982-9209

今月の中面特集は「島ぞうり」。まだまだ暑い日が続く沖縄では秋も冬も出番が多く、内地以上に日常に溶け込んだアイテムであることを再認識させられます。

9月は21日敬老の日、22日秋分の日と祝日が続き、19日(土)から22日(火)まで4連休の「シルバーウィーク」が設定されています。





Smile Vision!

個人向けのオーダーメイドから大手企業とのコラボまで「島ぞうり」の魅力が全世界へ発信する山城忠さんの挑戦



OKICHU/ 沖忠の島ぞうりのキャッチコピーは「クセになる履き心地」。クッション性が高く歩きやすく、履くほどに一人一人の足になじみ、「オフィスやホテル、飛行機内など、履物としての利用シーンも広がっています」と山城さん

県民の多くが幼い頃から慣れ親しんできた「島ぞうり」は今や、万国共通の固有名词になりつつあります。単なる日用品の枠を超えて、県外・海外にその存在を広く知らしめた仕掛け人は、株式会社琉球ファクトリー代表取締役CEOの山城忠さん。品質と履き心地を追い求め、沖縄らしさをPRする「ブランド」としての地位を確立するまでには、次のようなストーリーがありました。

ブランド化を支援する側から、自身がブランドをつくる立場へ

「島ぞうり」は足元をストレスから解放し、毎日の暮らしにおおらかなさや素材の快適さなどをプラスしてくれる魔法のアイテム。本土と比べて温暖な沖縄では、ほぼ年間を通して履き続けることができ、山城さんにとっては「子どもも時分、どの家庭でも玄関や軒先には島ぞうりが置かれ、放課後は皆いつたり



北谷町デポアイランドにある「日本製島ぞうり専門店 OKICHU/ 沖忠」ショップ。オーダーメイドの島ぞうりは、台20色×鼻緒12色×台の形状2タイプ×絵柄のテンプレート16種類=7296通り&文字は自由に入れられるので、その組み合わせは無敵大

家に帰って靴から履き替え、バタバタと音を鳴らして遊び回っていた」という自身の原風景が、オリジナルの島ぞうりづくりを始める源流になりました。

北谷町で「株式会社琉球ファクトリー」を設立し、メイン事業の一つである「日本製島ぞうり専門店OKICHU/ 沖忠」をオープンしたのが2006(平成18)年。以前は北谷町商工会と沖縄県商工会連合会に在籍し、特産品開発やそのマーケティング戦略に長く携わってきたため、将来はいつか独立して事業を興し、「今度は自らの手で、沖縄を代表するようなブランドを一から立ち上げてみたい」との思いを抱いていました。

「BEGIN」が歌う『オジー自慢のオリオンビール』の中には、「島とつくものなんでも好きで、酒にマース、ぞうりまで♪」というフレーズが出てきます。島ぞうりはまさに、戦後沖縄の風景を彩る日常的な履物として、多くの人たちから愛され親しまれてきたものですからね。

事業化にあたり、山城さんがまずこだわったのが品質と履き心地でした。当時、島

ぞうりの「本場」である沖縄では、外国製が主流であり、価格も500円程の島ぞうりがほとんどでした。しかし商工会での経験上、世界的にみて「メイド・イン・ジャパン」製品に対する信頼度は極めて高いことを実感しており、増加傾向にあった海外からのインバウンド需要にも着目して、「日本製の素材を使い、沖縄でデザイン・製造した商品を、ここ北谷町を拠点に販売し、全世界へ発信する」という基本スタンスを決定しました。



ズラリと並んだソール(台)の中から好みの色を選んでマイ島ぞうりづくり♪「親子でご来店いただくことも多いのですが、子ども以上に大人のほうが時間がかかることがよくありますね(笑)」と山城さん

見ても履いても楽しめる付加価値を生む商品づくり。たかが島ぞうり。されど島ぞうり。OKICHU/ 沖忠

のパンフレットには、シンプルなかたちの中にも次のようなこだわりを込めてつくられていることが記されています。

①ソール(台部分)は発色のよい合成ゴムに滑り止めを施し、さらにスムーズな歩行をサポートするために、かかとに比べてつま先が低い「テーパード」型を採用。

②鼻緒には柔らかくて肌触りのよい天然ゴムを使用。鼻緒ズレを起こしにくく、履くほどに足形になじんできく。もちろんビジネスとして

は、素材・製法へのこだわりは基本的に価格に反映されません。日常履きである島ぞうりを従来より高めの価格設定にした場合、どれだけの需要があるか?そもそも商売として成り立つのか?という問題が出てきます。そのため山城さんは、品質・履き心地を追求すると同時に、さまざまな付加価値を生み出す仕掛けを考案していきました。

例えば北谷町美浜のデポアイランドにあるショップでは、台と鼻緒の色・形・絵柄などが選べるオーダーメイドの島ぞうりづくりが楽しめるます。台の部分には簡単なメッセージを自由に刻印できるため、履物の用途に限らず、記念日のギフトやお土産まで幅広いシーンで求められるように



型抜きは手作業で、足型は通常タイプと5本指タイプがあり、サイズは子ども用の15センチから29センチまで1センチ単位で用意しています

正面から愚直に正直に島ぞうりの魅力を広める

山城さんのビジネススタイルは、直球ストレートが基本の正攻法。背景には、商工会時

代に間近で見えてきた多くの経営者の姿があり、「長く成功している方は皆、どんな仕事でもごまかずに真つ正直に取組んでいる」との印象を強く受けました。だから先に挙げたコラボ島ぞうりでも、イラストやキャラクターの扱いには常に無断使用の問題が付きまとうなか、真つ正面から交渉のテーブルに着きライゼンスを獲得。品質面の要請には技術力で応え、精細・微細な加工が可能な高性能レーザー加工機を導入し、企業価値やキャラクターイメージを担保する態勢を整えました。

一つ一つの積み重ねにより築いた信頼は信用につながり、商機は大幅に拡大。今や島ぞうりは「Shimazori」の名で海を渡り、ハワイ、シンガポール、オーストラリアにも販売網が広がりました。

「ある先輩経営者には、『スイーツケースに島ぞうりをいっぱい詰め込んで、汗をかきながら世界中を回っている人間は山城君一人しかないね』と冗談半分で笑われましたが、それは最高の褒め言葉。自分が本当にいいと思ったものを広めたい一心でやっているんだろう? 私たちも若い頃はそうだったよ。頑張るなさい」とも言っていた。励みになりま



誰もがよく知る大手企業・有名キャラクターとのコラボ島ぞうりも多数。山城さんの尽力により島ぞうりは海を渡り、沖縄ブランドの一つとして羽ばたいています